【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年8月5日(2024.8.5)

【国際公開番号】WO2023/090255
【出願番号】特願2023-561564(P2023-561564)
【国際特許分類】
C08G 81/02(2006.01)
C08G 65/336(2006.01)
C08L 33/14(2006.01)
C08L 71/00(2006.01)
【FI】
C08G 81/02
C08G 65/336
C08L 33/14
C08L 71/00 Y

【手続補正書】
【提出日】令和6年5月13日(2024.5.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
Ａ剤とＢ剤を含む多液型硬化性組成物であって、
Ａ剤が、反応性ケイ素基を有するポリオキシアルキレン系重合体（Ａ）、反応性ケイ素基を有する（メタ）アクリル酸エステル系重合体（Ｂ）、並びに、ジアルコキシジアルキルシラン、ジアルコキシジアリールシラン、及びアルキルスルホン酸エステルからなる群より選択される少なくとも１種の化合物（Ｃ）を含有し、
Ｂ剤が、反応性ケイ素基を有するポリオキシアルキレン系重合体（Ａ）、反応性ケイ素基を有する（メタ）アクリル酸エステル系重合体（Ｂ）、及び可塑剤（Ｄ）からなる群より選択される少なくとも１種の化合物と、無機充填剤（Ｅ）と、水（Ｆ）とを含有し、
Ａ剤またはＢ剤のいずれか又は双方が、シラノール縮合触媒（Ｇ）を含有し、
前記反応性ケイ素基が下記一般式（１）で表され、
Ａ剤が、化合物（Ｃ）としてジアルコキシジアリールシランを含有する、多液型硬化性組成物。
$-SiR^1_{3-a}X_a$ （１）
（式中、R^1は、置換又は非置換の炭素数１～２０の炭化水素基を表す。Ｘは水酸基または加水分解性基を表す。ａは２または３である。）
【請求項２】
Ａ剤が、化合物（Ｃ）として、アルキルスルホン酸エステルを更に含有する、請求項１に記載の多液型硬化性組成物。
【請求項３】
（メタ）アクリル酸エステル系重合体（Ｂ）が、アルキルの炭素数が１～３である（メタ）アクリル酸アルキルを全単量体中４０重量％以上含有する、請求項１又は２に記載の多液型硬化性組成物。
【請求項４】
Ａ剤が、アミノ基含有シランカップリング剤（Ｈ）をさらに含有する、請求項１又は２

に記載の多液型硬化性組成物。
【請求項５】
Ａ剤とＢ剤からなる２液型の硬化性組成物である、請求項１又は２に記載の多液型硬化性組成物。
【請求項６】
請求項１又は２に記載の多液型硬化性組成物を硬化させて得られる硬化物。